



議会だより

# なよろ



2014 .11 .1 発行

34  
No.



4年がかりで初収穫を迎えた  
竹部ファーム（瑞穂）のぶどう畑

## 第3回定例会

定例会で決まったこと・審議日程 .....	2
決算審査特別委員会・議員協議会	
名寄市立大学再編構想調査特別委員会 .....	3
議決結果 .....	4
意見書・議会スナップ .....	5
一般質問に14人 .....	6 ~ 12
各委員会活動報告 .....	13
きぼう・議会日誌・編集後記 .....	14

平成26年 第3回定例会 9月1日～9月26日

災害復旧費など4億6689万8千円の一般会計補正予算を可決

平成26年第3回定例会は、9月1日から9月26日までの26日間開かれました。会議初日、加藤市長は行政報告の中で、名寄大学の学部再編の強い意思表明を行ったことから、議会では「名寄市立大学再編構想調査特別委員会」を組織し、再編計画について審議することにしました。議案審議では条例案6件、補正予算案7件、平成25年度決算の認定案11件、その他10件、意見書案9件を審議し、一般質問では14人の議員が市政について質問しました。

主な条例

名寄市文化芸術振興条例の制定について

来年5月に(仮称)市民ホールが開館することを機に、市民主体の活発な文化芸術活動が行われるよう制定するものです。

名寄市コミュニティ放送局送信所設置条例の制定について

行政情報の活用と共有化を推進するため送信所を設置し、難聴取地域を解消して情報通信格差の是正を図り、地域文化の向上、また、防災等緊急情報の伝達手段の機能を確保

し、安全なまちづくりに寄与するために制定するものです。

主な補正予算

8月の大雨による災害復旧事業

8月4日～5日と24日の大雨による災害復旧費として公  
共土木施設復旧に2億951  
4万円、農林業施設復旧に1  
500万円、その他公共施設  
復旧に2600万円を追加し  
ました。

ピヤシリスキー場整備事業費

老朽化や損傷等による圧雪車、リフト乗降場などの修理費用として809万円を追加

し、今シーズンのオープンに向けて準備を進めます。  
(仮称)市民ホール整備事業費

待望の市民ホール完成に合わせて必要となる舞台大道具、演奏者用諸室事務用品などの購入に8725万4千円を追加しました。

大学維持管理事業費

名寄大学看護棟ボイラー改修、恵陵館ラウンジ改修のため640万円を追加しました。

名寄岩関生誕100年記念事業補助金

映画「名寄岩涙の敢闘賞」の上映会、相撲大会などの記念事業の一部補助として150万円を追加しました。



人事案件

名寄市固定資産評価委員の選任に同意

三島 裕二氏(新任)

名寄市西4条北6丁目8

人権擁護委員の推薦に同意

奥山 省子氏(新任)

名寄市西1条南6丁目11

審議日程

9月1日(月)

- ・開会
- ・行政報告
- ・議案等審議
- ・各会派代表者会議
- ・決算審査特別委員会

9月3日(水)

- ・市民福祉常任委員会(付託案件審議)

9月9日(火)

- ・市民福祉常任委員会(付託案件審議)

9月10日(水)

- ・各会派代表者会議

9月16日(火)～18日(木)

- ・一般質問
- ・各会派代表者会議(16日)

9月19日(金)

- ・市民福祉常任委員会(付託案件審議)

9月22日(月)

- ・決算審査特別委員会
- ・議会運営委員会
- ・各会派代表者会議

9月24日(水)～26日(金)

- ・決算審査特別委員会
- ・議会運営委員会(26日)
- ・本会議再開(26日)
- ・委員長報告(付託議案)
- ・議案等審議・意見書案審議
- ・閉会

平成25年度 決算審査特別委員会

## 平成 25 年度決算を認定

第3回定例会において、全議員をもって構成する平成25年度決算審査特別委員会を設置しました。

第1回委員会を9月1日に開催し、委員長に高橋伸典委員、副委員長に高野美枝子委員を選出しました。

第2回目以降は、9月22日、24日から26日までの4日間の実質審査に入り、各会派の代表による総括質疑並びに委員による質疑が行われ、行財政改革、生活・環境問題、福祉行政、教育、病院事業など身近な課題をはじめ、将来に向けての課題整理や各種事業の継続性、新規事業への考え方など、適正な予算執行にかかわって慎重な審査を行いました。

審査の結果、全会計決算中、一般会計及び国民

健康保険特別会計については賛成多数により、その他の介護保険、後期高齢者医療、市場、食肉センター、下水道、個別排水、簡易水道の7特別会計と病院事業会計、水道事業会計は全会一致で認定しました。

委員会としては、各会計決算はいずれも正確な収支が行われ、予算の執行が適正であったことを認め、結審しました。



高橋委員長（左）と高野副委員長（右）

## 議員協議会（8月13日）



被害報告を受ける議員協議会

8月4日から5日にかけての大雨災害にかかわる被害状況等の報告を受けました。避難勧告、自主避難合わせて346人が避難、大事には至らなかったものの、<sup>きょうりょう</sup>橋梁、道路の損壊や田畑の冠水による農作物への影響が懸念され、被害防災意識の大切さを確認しました。

議員からは災害復旧や衛生面での対応策、大雨のたびに被害に合う地域の計画的な整備計画について質問や要望が出されました。

## 名寄市立大学再編構想調査特別委員会（9月16日・29日）

名寄大学短期大学部（児童学科）の4年制化と保健福祉学部の再編強化にかかる新学科の設置計画の検討が開始されました。9月1日、第3回定例会初日において設置された名寄市立大学再編構想調査特別委員会（駒津喜一委員長）では、大学から提出された「社会保育学科設置計画案」に基づき、学生の4年制大学志向の動向、校舎改築費用、経常経費などに慎重な検討が加えられ年内をめどに結審する予定になっています



再編構想が進む名寄大学

## 平成 26 年第 3 回定例会議決結果

議案番号	件 名	結 果
議案第 1 号	名寄市文化芸術振興条例の制定について	閉会中審査
議案第 2 号	名寄市コミュニティ放送局送信所設置条例の制定について	原案可決
議案第 3 号	名寄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第 4 号	名寄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第 5 号	名寄市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 6 号	北海道市町村職員退職手当組合を組織する団体の増加及び北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について	原案可決
議案第 7 号	音威子府村の旅券交付申請及び交付に関する事務の受託について	原案可決
議案第 8 号	工事請負契約の締結について（平成 26 年度北斗団地公営住宅建設工事～建築工事）	原案可決
議案第 9 号	財産の取得について（コンサートグランドピアノ 1 台）	原案可決
議案第 10 号	損害賠償の額を定めることについて	原案可決
議案第 11 号	損害賠償の額を定めることについて	原案可決
議案第 12 号	名寄市土地開発公社の解散について	原案可決
議案第 13 号	専決処分した事件の承認について（消防費 6,000 千円の追加補正）	承認
議案第 14 号	平成 26 年度名寄市一般会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議案第 15 号	平成 26 年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 16 号	平成 26 年度名寄市介護保険特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第 17 号	平成 26 年度名寄市下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 18 号	平成 26 年度名寄市病院事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 19 号	平成 26 年度名寄市水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議案第 20 号	平成 25 年度名寄市一般会計決算の認定について	認定
議案第 21 号	平成 25 年度名寄市国民健康保険特別会計決算の認定について	認定
議案第 22 号	平成 25 年度名寄市介護保険特別会計決算の認定について	認定
議案第 23 号	平成 25 年度名寄市下水道事業特別会計決算の認定について	認定
議案第 24 号	平成 25 年度名寄市個別排水処理施設整備事業特別会計決算の認定について	認定
議案第 25 号	平成 25 年度名寄市簡易水道事業特別会計決算の認定について	認定
議案第 26 号	平成 25 年度名寄市公設地方卸売市場特別会計決算の認定について	認定
議案第 27 号	平成 25 年度名寄市食肉センター事業特別会計決算の認定について	認定
議案第 28 号	平成 25 年度名寄市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定
議案第 29 号	平成 25 年度名寄市病院事業会計決算の認定について	認定
議案第 30 号	平成 25 年度名寄市水道事業会計決算の認定について	認定
議案第 31 号	名寄市固定資産評価員の選任について	同意
議案第 32 号	名寄市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 33 号	財産の無償貸付けについて（送信施設）	原案可決
議案第 34 号	平成 26 年度名寄市一般会計補正予算（第 5 号）	原案可決

### （賛否の分かれた議案）

（賛成） ×（反対） 欠（欠席） 退（退席）

議案番号	件 名	会派名 議員名	市民連合・凜風会					市政クラブ					議	新緑	清	公	共				
			高野美枝子	竹中憲之	佐藤英靖	奥村英俊	熊谷吉正	佐藤勝	日根野正敏	植松正一	塩田昌彦	山田典幸						川口京二	佐々木寿	駒津喜一	東千春
議案第 20 号	平成 25 年度名寄市一般会計決算の認定について					欠				欠	欠										×
議案第 21 号	平成 25 年度名寄市国民健康保険特別会計決算の認定について					欠				欠	欠										×

新緑（新緑風会） 清（清風クラブ） 公（公明） 共（共産党） 議（議長）  
議長は表決に加わりませんので空欄とします。

【訂正】第 33 号の本欄で、黒井議長の賛否の欄に が記されていますが、議長は表決に加わりませんので削除します。

## 第3回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

(意見書名と主な内容)

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

地域の特性に応じた森林の整備・保全を着実に進めるとともに、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を求めるものです。

2015年度予算(介護・子ども)の充実・強化を求める意見書

介護保険制度について、地域間格差やサービス低下および福祉労働者の処遇低下を招くことなく、制度の充実をはかるとともに、子ども・子育て支援新制度については、保育の質を改善するよう求めるものです。

地方財政の充実・強化を求める意見書

公共サービスの質の確保と地方自治体の安定的な行政運営を実現するため、2015年度の地方財政計画、地方交付税及び一般財源総額の拡大を求めるものです。

義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざし、就学保障充実など2015年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書

教育予算の確保・拡充を求めるものです。

「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書

危険ドラッグの根絶に向けた総合的な対策を強化することを求めるものです。

奨学金制度の充実を求める意見書

意欲と能力のある若者が、家庭の経済状況にかかわらず、安心して学業に専念できる環境をつくることを求めるものです。

産後ケア体制の支援強化を求める意見書

少子化対策を進めるにあたり、「産後ケア対策」の早急な確立を求めるものです。

電力料金再値上げの撤回を求める意見書

北電が電力料金の再値上げ認可申請を撤回することを強く求めるとともに、国や道が認可申請に対して厳しい姿勢で臨み、認可しないことを求めるものです。

特定秘密保護法の施行延期を含め慎重な運用を求める意見書

多くの市民が不安を抱える特定秘密保護法の運用に、明確な対応と措置を強く求めるものです。

## 議会スナップ

### 大雨による被害地を視察(8月9日)

8月4日から5日にかけての豪雨。コンクリート橋の崩壊や収穫を目前にした農作物の流出など、早期対策を考える一日となりました。



昭和27年に建設された初音橋  
倒壊した



参加者の  
揃いの  
はんでん  
で盛り  
上がる

### 風舞あんどんに参加(8月13日)

名寄市議会議員有志16人が、「第36回風連ふるさとまつり」に参加。

夏の夜空に氣勢をあげ、観衆とともに楽しい時間を過ごしました。

一般質問



明と暗の取り組み

市民連合・凜風会 佐藤 靖 議員

財源の裏付けなし

**問** 名寄市日進地区再整備基本構想によると、ホテル、温浴施設の新設、現ホテル施設は合宿に特化した改築、健康の森に動物とのふれあい施設など、厳しい財政事情とあまりに遊離した内容となっているが、財政的裏付けはあるのか。また、具体的に平成28年の取り組みを提示しているが、本当に可能と考えているのか。

**答** 現段階で財源の裏付けについて明言はできない。一定の構想がまとまった段階で検討したいが、財源が担保されて構想が生きてくる。具現性が持てる必要な事業を選択しつつ、改めて提示したい。

中心街の活性化は？

**問** 名寄地区中心街の活性化に期待を込めた都市再生整備計画なよる地区は、来年度で最終年度を迎えるが、この間、活性化は図られたのか。



新たなホテルの新設、旧ホテルの改修計画構想が浮上している「なよる温泉サンピラー」

中心街の活性化は30年来の課題、商工会議所などの他力本願とはせず、行政が個店と話し合うなど、真剣に取り組むことが必要ではないか。夢を描く日進地区再整備計画基本構想とあまりに差異があり過ぎる。

**答** 都市再生整備計画で、課題となっていた駅前賑わいづくりは一定果たすことができた。今後、中小企業振興条例の見直しの中で検討したい。

**他の質問**・名寄市立総合病院について



市民が主役のまちづくり

新緑風会 大石 健 二議員

高速道の着工に向けて

**問** 国交省は8月8日、北海道縦貫自動車道（高速道）土別市多寄町〜名寄間の事業再開を決定。同区間のインターチェンジ（車の出入り口）やサービスエリア（休憩施設）等の具体的な設計の要請や今後の運動展開は。

**答** 同区間は新直轄方式のため、今はまだ車の乗り降りの場所は決定していない。サービスエリア等についても、同方式による区間には設けられていない。昨年末の市民集会では風連地区の活性化振興と利便性を考慮したインターチェンジ開設の要望が寄せられており、国などに提言や要請を行っていく。

空き家条例なぜ施行できぬ

**問** 25年3月の予算審査特別委で、管理不全な空き家の適正管理を行う条例の25年度内制定・施行を言明したにもかかわらず、いまだに履行さ



工事着手が決まった高速道士別市多寄町 名寄間（白い点線部）。風連地区の活性化振興と利便性が期待される。

れていない。道内でもこれまでに8市で制定施行されている。市民と向き合う市政執行の観点から今後の対応は？

**答** 国の空き家対策は、罰則規定を含めて対応するとしていたが二転三転した。市はこの間にも倒壊寸前の危険家屋の調査、除去等も行っている。条例制定は国の動向を見極めていきたい。

**他の質問**・名寄市の人口減少対策・未曾有の8月豪雨被害・側溝清掃などについて

新直轄方式：高速道路会社によらない国と地方自治体の負担による新たな直轄事業。

一般質問



健康マイレージを先行

公明 高橋 伸 典 議員

地域活動ポイント制度を

**問** 高齢者の介護予防を目的としたボランティア地域活動ポイント制度が、全国209市町村で実施されている。自身の介護予防や健康づくり、社会貢献の観点からも実施すべきでは。

**答** 介護予防事業の一次予防事業では、老人クラブや町内会の健康教室、健康相談などを行い、二次予防事業では平成25年度には、延べ1544人が通所型介護予防事業を利用。ボランティアポイント制度は実質的に介護保険料の負担につながる制度として、健康づくりや社会貢献の観点からも有効と考えているが、先に議員からご提言されました「健康マイレージ」の検討を先行する。ボランティアポイント制度は、内容の研究や他市の動向を検討する。

**問** 地域防災対策について避難所の情報を正確に

伝える住民への周知方法と

「タイムライン」の取り組みで早めの対応や、電話で防災情報が聞けるシステム音声応答装置導入の考えは。

**答** 市では避難準備情報、避難勧告、避難指示を出し、各個人、町内会等の判断で避難を行う。「タイムライン」「トリアージ」は効果が期待できるシステムと考えており、研究を進める。システム音声応答装置の導入は、設置費用等の調査を行う。  
**他の質問**・子ども、子育て支援制度本格施行に向けて



健康マイレージの推進を



影響大きい電気料値上げ

市民連合・凜風会 竹中 憲之 議員

電気料値上げの影響は

**問** 北電の電気料値上げにかかわる公共施設、街路灯等の影響について。企業等の調査と対策について。低所得者への対策は。今後の市営住宅のオール電化のあり方は。行政として北電への申し入れは。

**答** 家庭向けでは標準家庭で月額1千円、「ドリーム8」で月額8千円程度の負担増が見込まれる。公共施設等は個別契約のため値上幅は異なるが、対象の41施設で年間平均4800万円の負担増。影響の大きい施設は、市立病院で1600万円、下水道処理場で700万円が見込まれる。街路灯は平成25年度から試算すると年間730万円の負担増と考えている。企業等の調査は市独自では実施していない。道のアンケート調査では、大きく影響すると回答した企業は24.6%、酪農家の負担はJA北海道の試算では、

電気料値上げの影響が大きい市立総合病院（1600万円）



電気料値上げの影響が大きい市立総合病院（1600万円）

搾乳牛70頭程度の平均的規模で年間27万円の負担増が見込まれる。低所得者への直接的な支援は困難。今後の市営住宅のオール電化について再検討が必要かもしれない。北電へ直接申し入れはしていないが、「お客様説明会」で意見はしている。さまざまな機会を通じ、関係機関と連携し要望したい。  
**他の質問**・教職員の事故、事件にかかわる倫理観と指導及び子どものケアと中学校への特別支援員の配置について

タイムライン：時間経過に従って変化する情報を表したもの。  
トリアージ：多数の負傷者が発生した際に、治療や搬送の優先順位を決めること。

一般質問



日進地区再整備に向けて

市政クラブ 佐々木 寿 議員

将来に向け一丸で

**問** 名寄温泉の平成25年度の経営は、営業休止等により営業収益減となり、債務超過寸前の経営となったが改善事項、今後の方向性を伺う。

**答** 温泉施設利用料は平成10年度から総額で2億円を超え当市の厳しい財政状況に寄与したものの、公社としての内部留保ができなかったことも厳しい経営となった一因でもある。これを踏まえ、平成25年5月に「経営改善計画」を策定し利用促進、経常経費縮減を進めてきた。本年7月時点で宿泊数の増加、パークゴルフパック等の営業活動の強化で利用者が増加し、指定管理料収入を含め損益で昨年度を上回った。今後は毎月の営業会議には職員も傍聴し、改善事項発生時には早期に対策を図る等経営改善計画の着実な遂行により経営安定化を強く促していく。

難聴者へのサポート

**問** 国の基準で補助金の出ない難聴者に対する独自助成に対する見解を伺う。

**答** 難聴児に対しては、就学時健診や内科健診の際に聴力検査や個別に相談の配慮をしている。高齢者への助成は道内で北見市のみが行っている。当市としては財政負担上困難であるが、国や道に対して市長会等を通じて助成制度創設に強く働きかけていく。  
**他の質問**・高齢者就労支援について

災害時における対応について

**問** 弱者も含めた災害時における市民対応と今後について

**答** 平成27年度に防災ハザードマップを改定し、浸水想定地域や避難所をわかりやすいものにします。避難する際、外に出ることが危険な場合、安全な建物の2階以上に避難する「垂直避難」を検討します。避難行動要支援者名簿も消防と連携し作成します。  
**子ども子育て支援について**

**問** 放課後の児童生徒の対応や保育所の待機児童について

**答** 少子化により子どもたちの人数は減少していますが、核家族や女性の就労の増加により共働き世帯が増えている中で、放課後児童クラブを利用する子供たちは増加傾向にあります。児童クラブは校区単位で、できるだけ小学校敷地内か隣接地に設けたいと考



安全・安心な名寄市のために

市民連合・凜風会 高野 美枝子 議員

えています。現在計画中であります東地区では東小学校のハード面で問題があり、すぐに設置することはできません

が、保護者の不安解消に努めます。街なかの子育て支援については、現在は一時保育など、保護者のニーズが多様化しています。施設を求める声も多く街なかはこのよう施設がないことが指摘されています。支援施設については27年度中をめどに議論していきます。

**他の質問**・空き家対策について



観光・交流人口の核として奮起が望まれるサンピラー温泉



親子お出かけバスツアーで地域のお年寄りとの交流

一般質問



有効的な活用を

市政クラブ 川口京二議員

豊西小廃校後の活用は？

**問** 平成28年3月に廃校となる豊西小学校の廃校後の活用は。

**答** 教育委員会で検討してきた内容は、文部科学省が取り組んでいる「みんなの廃校プロジェクト」に登録し、全国から利用者を募る。維持経費がかかるため、解体し更地として仮称市民ホールの臨時駐車場や冬季の堆雪場として利用する。体育館だけ残し、改修して利用する3案だが、市民ホールや浅江島公園に隣接し立地条件に恵まれているため、市民の意見も聞き取りながら方向を出していきたい。

AEDの管理等は？

**問** 小中学校を始めさまざまな施設に設置されているが、設置場所は適正か？設置場所に標示はあるか？点検管理は定期的に行われているか？

**答** 人が多く集まる場所の近くや、施設職員が迅速に持

ち出せる場所に設置している。標示は、AEDマークの書かれた掲示物をすべてに標示している。点検管理は昨年、全施設に対し一斉点検を行ない

また、日常的な点検もお願いしている。消耗品の交換時期は、社会福祉課で一括管理しており、期限前に各施設に連絡している。破損や紛失などは随時報告をいただき、その都度消耗品や付属品の補充をしている。今後適切な維持管理に努める。

他の質問・大雨災害から



平成28年3月で廃校となる豊西小学校



商工業活性とジュニア育成

市政クラブ 塩田昌彦議員

商工業活性化に係る補助

**問** 商工業活性化にかかる道や国からの補助情報について

**答** 行政や商工会議所・商工会が互いに連携し、月一回の情報交換を行っている。情報交換会には、NPO法人なよる観光まちづくり協会の参加について要望した。また、5丁目や6丁目に新店舗を構えた方たちに意見を聞く等、今後の商店街活性化に向けた取り組みを図るため、行政・商工会議所職員自ら商店街に足を運び、情報収集することを求めた。市が上級官庁へ派遣している職員からの情報提供により「まちづくり」施策に貢献、成果をもたらしており、職員派遣の効果と更なる期待

ジュニアの育成について

**問** ジュニア登録の状況及び育成補助金、指導者養成の考え方、道及び全国大会出場への支援、専用バスの確保に

ついて

**答** 登録数は、名寄20少年団430人、風連5少年団79人で、登録に合わせた助成を行っている。未登録団体へは今後の処遇を検討する。道・全国大会への支援は、教育費補助金で対応している。また、専用バスの確保については、陸運局の指導もあり交通安全の観点から民間車輛の借り上げ助成で対応。

他の質問・農産物簡易加工処理施設のハサップ認定の取得



日八ム選手による野球教室

AED：自動体外式除細動器。突然、心停止状態に陥った人に用いる救命装置。

ハサップ(HACCP)：食品の製造過程で発生する危険性を分析し、厳格に管理・記録を行うシステム。

一般質問



商工業の活性化について

市政クラブ 駒津喜一 議員

振興条例による支援

**問** 商工業への施策は主に中小企業振興条例と企業立地条例による施策ですが、地域経済の活性化を図るためにも平成28年度の施策見直しに向けて、起業支援をはじめとする各施策内容の充実を計画すべきでは。

**答** 商工業の支援として11月をめどに商工会議所を含めた検討委員会を予定し、中小企業に対する施策について協議を進める予定です。内容的には地域経済の支援として現状に沿った形で、現在の支援策で改善するものと中長期的な視点の中で新たに創設すべき事業さらに、事業継承者への支援、新たに事業を創造する起業家に対する支援等を含めて検討していきたい。

**問** 移住・定住促進について

**答** 平成25年度から実施している名寄市お試し移住住宅の事業等を活用した移住定住

希望者へは、空家の利活用を含めた支援策を強化すべきでは。

**答** お試し移住住宅の利用開始から利用者には好評を得て利用者数も増加しつつあるので、今後利用期間の延長を含めた対応策を考えていきたい。空家の対応策として名寄移住促進協議会により空家情報をより進めていきたい。

**他の質問**・企業誘致について

- ・ごみリサイクル3R推進と回収ボックスの設置について



商工業の支援でまちを元気に



高速道にインターを

市民連合・凜風会 日根野正敏 議員

高速道について

**問** 土別（多寄）〜名寄間の高速道建設の今後と、名寄市の経済向上を目指し、風連地区に昇降口の建設と名寄インターにサービスエリアの設置を、国に積極的に要請を。

**答** 今年、8月に事業再開が決定した。今後、詳細設計、測量が行われる。現段階では、工事着工などのスケジュールは示されていないが、旭川建設部と連絡を取り、早期着工等の要望活動を行う。風連地区の昇降口は、正式な決定は受けていないが、経済面や利便性の面からも必要と考えている。サービスエリアの設置についても、市民や関係団体の意見を聞きながら積極的に要望活動を行っていく。

**問** 望湖台自然公園について

**答** 観光場所としては、ポテンシャルの高い自然公園の利用展開は。センターハウスの閉鎖に伴い風連地区に無く



長年、憩いの場として親しまれたセンターハウス

なった温浴施設の建設を。

**答** センターハウスは、老朽化が進んでいるため、早期に解体をしていく。自然公園については、管理範囲を縮小し、地域の憩いの場として活用したいとの、市の考えを地域の方に説明をしているところ。温浴施設については、風連商工会等と民間活用誘導策について意見交換をしていく。

ポテンシャル：可能性とでもっている能力。潜在的な力。

一般質問

小中一貫教育について



子ども達の未来のために

市政クラブ 山田 典 幸議員

**問** 文部科学省は小中一貫教育の平成28年度からの制度化に向けて検討に入ったが、当市として地域の意向を踏まえた上での導入の可能性と課題について見解を伺う。

**答** 小中一貫教育は、教育目標や指導体制、施設活用等で導入するための検討課題が多いと認識をしているが、地域として導入の意向のある智恵文地区に関しては、小・中学校の連携や学校と地域の連携も進んでおり、小中一貫教育を効果的に推進するにふさわしい地域と考えている。今後、智恵文小と智恵文中を当市の小中一貫教育のモデル校として導入に向けて検討するとともに、調査研究を進めていきたい。

地域コミュニティのあり方

**問** 先般、智恵文地区の主要団体代表者より地域の総意として、小中学校・保育所・多



学校・家庭・地域の連携で教育環境の充実を

目的研修センターの機能を持つ複合施設建設の要望が正式になされたが、この要望を受けて今後の市としての対応と考え方について見解を伺う。

**答** 地域の思いは十分に受け止めた。複数の重要な機能があるため、各部横断的な検討が必要。平成29年度からの次期総合計画での位置付けを含め、十分な協議の時間を頂き財源調査や地域との意見交換を進めて行きたい。  
**他の質問**・8月の大雨による農業被害への対応について。

育ちなどの権利の保障を



原発に依存しない決意を

日本共産党 川村 幸 栄議員

**問** 子供の貧困が最悪の状態という。まち全体で子どもへの育ちを考える「子どもにやさしいまちづくり」をめざし、子どもの権利条例制定を求め、再度伺う。7月政務活動費を活用し、平成25年に子どもの権利条例を制定した青森市を視察。子どもの権利の日を定め、弁護士などを置いた子どもの権利相談センターを設置するなど、権利条例をいかに取り組みを進めているが名寄市は。

**答** 社会的支援が必要なものは認識している。現在進めている子ども子育て法の支援事業計画の中で考えていきたい。

原発の再稼働は認めない

**問** 北海道電力は、泊原発再稼働を条件に、電気料の値上げを申請。市民のくらしはもとより、市関連の施設への負担増も膨大である。市は北海道電力の説明会時に、効率化



収穫直前のスイートコーン畑  
大きな打撃を受けました。

を進め中止をすべきと反対しているが、苫小牧市長のように、北電社長に見直しを要請する申し入れ書を提出するなど、キツパリした姿勢を取るべきでは。また、どの世論調査でも原発再稼働反対が半数を超えている。再生可能エネルギー活用の方角性は、  
**答** 値上げに対する考えは、あらゆる場面で言っている。原発は国策なので推移を見守りたい。また、木質バイオマスの活用は検討中である。  
**他の質問**・大雨被害に関して

一般質問



核廃絶、福祉、地域分権

市民連合・凜風会 熊谷吉正 議員

障がい者にもっとと安心を

**問** 手話を言語とする市民を支援する通訳者等の社会的役割を認識し、処遇改善を。

**答** 昨年の利用は65回もあり通院等が多く大変重要だ。通訳奉仕員のすそ野を広げる講習会の開催等が管内にも広がり、改善にむけ最善の努力をする。

■ 広島、長崎、福島と共に

**問** 来年はあの悲惨な原爆と敗戦から70年、今こそブレイキの利かない政治に地方から歯止めが必要。核廃絶、平和行政の推進強化を。民主党の議員研修で、原発事故現場500mまで視察したが、凄まじさを感じた。脱原発に理解を。

**答** 過去の事実を教訓として非核三原則を堅持し、戦争のない平和と、核廃絶を願う。戦後70年を機に非核平和都市宣言の下、長崎、広島が主催する平和首長会議の活動及び



長崎市の平和祈念像  
(右手が原爆の恐怖、左手が平和を指す)

これまでの平和行政や民間の各種事業も支援していく。原発事故後の再稼働問題は国の責任でしっかり安全性を判断し、国民にも周知すべき。道市長会も函館市に連帯し大間原発工事再開中止を求めた。今後も南相馬市を支援する。

**他の質問**・名寄市地域分権の推進で、構想と具体的展開を・東五号道路等の整備・文化、スポーツ施設等への「命名権」について



安心安全な地域経営

清風クラブ 上松直美 議員

■ 健康やかに暮らせるまちづくり

**問** 平均寿命が延び介護給付額、医療費が財政を圧迫している中、市民の健康づくりの推進が健康寿命の延伸となり有効な施策と考えるが。

**答** 健康づくりの推進事業は名寄市健康増進計画「健康なよる21(第二次)」で策定し、生活習慣病予防を重点におき特定健診、各種がん検診、健康教室、なよる健康まつり、各種イベント等の開催に取り組んでいます。今後も継続した運動習慣づくりでスポーツ施設等の有効活用を図り、関係各団体と連携しながらニーズを把握し、市民と一体となつて健康づくり、介護予防事業の推進に努めたい。

■ 安心安全なまちづくり

**問** PM2.5(微小粒子状物質)対策について、道の実証実験の動向等は。

**答** 道の方針は、実証実験を踏まえて測定体制の空白地域

に簡易測定器を整備させていくことになる。道の整備計画に向け、手を上げる機会があれば積極的に取り組みたい。PM2.5の影響については、呼吸器循環器系疾患、子ども、高齢者に配慮した迅速な情報提供が求められ、これまで同様にホームページ、FMラジオでの発信に努め、また、メール配信など随時対応策も検討し、注意喚起にかかわる連絡体制の確立を図る。



暮らしの中で運動習慣を

## 委員会活動をお知らせします

### 総務文教常任委員会

委員会は7月1日、29日、8月7日、26日に開催しました。総務部防災から8月5日の大雨被害状況及び防災コミュニケーション通信事業について、総務課からふるさと納税の推進状況と社会保障税番号制度について、企画課から市内公共施設のお試しチケットの状況について説明を受けました。教育委員会の生涯学習課からは、名寄市文化芸術条例についてと（仮称）市民ホール整備事業、工事進捗状況について説明を受けました。名寄市立大学・短期大学部では現状の大学図書館と新図書館建設予定地を視察し、その後、保健福祉学部の再編強化・新学科設置計画案についてそれぞれ説明を受け審議しました。

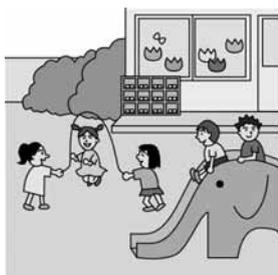


大学図書館を視察

### 市民福祉常任委員会

委員会は8月26日、9月3日、9月19日に開催し、主に平成26年第3回定例会で付託された名寄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定についてと、名寄市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について審査をしました。

主な質疑は、問「公定価格等が決まっていないが、行政としての進め方は」答「行政の一方的な考えで進めることはせず、定員等の設定は子ども・子育て会議に諮り意見を聞き進める。公定価格等の決定後この制度自体変化があった場合遅れることなく改正をしていく」等の質疑の後、議員間討論の結果、全会一致で原案通り可決すべきものと決定いたしました。



### 経済建設常任委員会

委員会は8月20日に開催、議題は建設水道部で平成26年度水道事業補正予算（真勲別頭首工オイルフェンス、共和地区扇洗管・仕切り弁修理、排水管整備等）、経済部では日進地区再整備基本構想、その他で旧公設卸売市場 道北藤田生鮮市場の現状、駅前交流プラザ「よるーな」の指定管理、地域おこし協力隊農業支援員の採用、ヒグマの食害8月5日の豪雨による被害報告の説明を受けました。

午後より主要農作物作況状況（3圃場）、旧公設卸売市場、農業振興センター、農道改良工事、北斗・新北斗団地住宅建設工事、徳田18線道路改良工事、西4条仲通り道路改良工事等の現場視察を行いました。



作物の生育状況を視察

### 議会運営委員会

第2回定例会以降、都合4回の委員会を開催し、議会改革と議会運営について協議した。8月12日の第15回委員会では、残された任期は限られているが、今、名寄市に求められる新たな条例案について議会改革の一環で協議。各会派から提出された15本について協議を開始しました。

第16回委員会は8月28日に開催し、第3回定例会の会期、日程などについて協議し、会期を9月1日から26日までの26日間と決めた。上程議案は32件、諮問1件。うち議案3件を所管常任委員会に、25年度決算については審査特別委員会を設置し、集中審議することとし、一般質問には14人の登壇を確認しました。第17回・18回委員会では最終日の議会運営について協議し、追加議案2件、意見書9件の審議を決めるとともに、久保田宏市立病院名誉院長のご逝去に伴う市長発言を認め、黙とうを捧げることとしました。

# ☆ き ぽ う ☆



出 逢 い  
名寄市東5条北1丁目51-22 三浦 廣美

清峰園に介護士として働いて早いもので18年がたちました。たくさんの別れもありましたが、出逢いもまたたくさんありました。利用者様との出逢いだけでなく、そのご家族との出逢いも私にとっては勉強になることばかりです。ご家族に託された想いを大切に利用者様のケアをさせて頂きたい、と職員と共に日々頑張っています。

新人職員に必ず伝えている私の介護理念があります。それは『人生の最後に出逢う介護士で、その方の人生が大きく変わる』ということです。「この介護士に出逢えて良かった。幸せだった」と思って頂ける介護をめざしていくことを信念とし、職員の育成に携わっています。

高齢者に優しい“まち”はきっと、若い世代の方たちにとっても住み心地の良い素敵な“まち”になることを確信しています。



JC(青年会議所)に入会して  
名寄市西1条南6丁目14-3 奥山 顕太郎

私が名寄青年会議所に入会してまもなく10ヶ月が経とうとしています。会に携わっていないと分かりづらいかもかもしれませんが、さまざまな行事に協力させていただいています。例えば雪フェスのN-1であったり、名寄祭りの神輿渡御、てっし祭り支援等私も入会前には協力していることを知らなかった行事もあり、今までの参加とは違った目線でさまざまな経験ができ、自分自身の成長に繋がったと感じました。

現在、名寄青年会議所は21名と昔から比べると少人数になったと言われ、大変だと感じることも多々ありますが皆楽しく活動しています。まだまだわからない事の方が多く先輩方に教えていただきながら、そして応援してくれる家族に感謝しながら、今後の活動も楽しく続けます。

## 議会日誌 7~9月

- 7/1 総務文教常任委員会
- 7/4 名寄市議員会研修(石狩市)
- 7/8 道北議員研修(稚内市)
- 7/28~30 議会報告会
- 7/29 総務文教常任委員会
- 8/7 総務文教常任委員会

- 8/9 大雨災害被災状況視察
- 8/12 議会運営委員会  
議会報告会市民意見要望  
提言の市長申し入れ
- 8/13 議員協議会
- 8/20 経済建設常任委員会
- 8/26 総務文教常任委員会
- 8/26 市民福祉常任委員会
- 8/28 議会運営委員会

- 9/3 市民福祉常任委員会
- 9/9 市民福祉常任委員会
- 9/16 名寄市立大学再編構想  
調査特別委員会
- 9/19 市民福祉常任委員会
- 9/22 議会運営委員会
- 9/26 議会運営委員会
- 9/29 名寄市立大学再編構想  
調査特別委員会

## 編集後記

いよいよ冬到来、早いもので今年も残すところあと2か月、冬支度に忙しい季節となりました。第3回定例会では一般質問に14名が登壇し、うち6名から8月の豪雨による災害に対する質問等が出されました。小河川や道路側溝から水があふれ、避難勧告、農業被害など、近年にない経験をしました。名寄川や天塩川もあふれそうな勢いの中で、避難指示や被害防止に当たられた方々には心から感謝申し上げます。なよるは地震も少なく、住みやすいところです。しかし、今回の災害で改めて自然に対しても万全なまちづくりを進める決意を新たにしました。市民の皆さんも、日頃から防災意識を高めましよう。

(みえ)

